

指標に基づいた効果的な研修の在り方に関する研究

－「指標確認シート」の活用を通して－

企画開発室 川崎 洋幸 兵頭 俊二 上岡 公紀
 石崎 有一 山下 太志
 研究協力者 愛媛大学大学院教育学研究科教授
 露口 健司
 愛媛大学大学院教育学研究科特定教授
 高橋 葉子

1 研究の目的

平成29年度に本県の「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」（以下、指標という。）が策定された。各教員が、自らのキャリアステージに応じた資質・能力の向上を図るためには、指標を基に自己分析を行い、目標設定をするとともに、様々な研修を適切に選択していく必要がある。また、本センターをはじめとする教員研修の実施主体としては、指標に基づいて研修の目的と内容を明確化するとともに、受講者が研修を申し込む際に適切な研修が選択できるような工夫が求められている。そして、校内研修等の機会においても、より効果的・具体的な指標の活用の機会を提供していく必要がある。

本研究では、教員の自己分析や目標設定等に役立つ「指標確認シート」を開発するとともに、本センターの研修や校内研修の場を想定した活用方法や、全ての教員が、指標に基づいて資質・能力の向上に向けた継続的な取組を行うことができるよう支援する方策について考察する。

2 研究の内容

(1) 「指標確認シート」の開発

指標に基づいて自己分析や目標設定を行うために、採用段階を除く全てのキャリアステージのキーワードに対応する「指標確認シート」（以下、確認シートという。）を作成した。確認シートには、キーワードの解説やキャリアステージごとの解説のほか、「具体的な姿」として、指標に示された資質・能力が、教育活動でどのように生かされるかを例示し、チェック表も作成するなど、自己評価を簡便に行えるよう工夫を加えた。

(2) 確認シートを活用した研修の実施

ア キャリアアップ研修Ⅲでの実施

本県の中堅教諭等資質向上研修において、キャリアアップ研修Ⅲは基礎研修の最終段階の研修に位置付けられている。そのため、本研修の受講対象者について、確認シートを活用した自己の振り返りや課題の明確化、目標の設定を行う機会は重要ととらえている。そこで、本講座においては、研修の目的を明確化するために、ミドルリーダー育成に直結するキーワードに限定して確認シートを使用した。受講者の反応から、自らのキャリアステージを再認識するとともに今後の具体的な目標を立てるために有効であったと考えられる。

イ 協力学校での実施

確認シートを広く校内研修においても使用できるよう、進行計画とともに補助シート等の開発を行った。協力学校では、確認シートを活用した校内研修支援講座を全2回計画し、第1回は、全教職員が参加する校内研修の場面で、自己分析や目標設定を行った。研修後、「今後高めたい資質・能力が明確になった」という受講者の感想が多く見られ、確認シートが指標に示された資質・能力を理解する上で、効果的であったととらえている。また、第2回は各教職員が目標に対する達成の度合いを振り返り、その背景と目標の修正作業を行った。これらの講座での実践を通して、開発した進行計画や補助シート等が、教員の資質・能力の向上に向けた継続的な取組に有効であったと考えられる。

(3) 校内研修パッケージの作成

協力学校での実施を基にして、校内の研修推進の中心的役割を果たす研修主任を対象とした専門研修において確認シートを使用し、研修の実施側としての立場から課題や意見を収集した。そして、協力学校で使用した資料に改善を加え校内研修パッケージを作成した。

3 研究のまとめ

本研究を通じて、開発した確認シートは、教員が指標を基にして、今後自分が高めたい資質・能力を明確にし、自己分析や目標設定、取組の振り返りと修正等の場面で有効であることを明らかにできた。今後、本研究の成果を生かし、確認シートを活用した研修を各学校に広げていく計画であり、本センター所員が学校に出向いて講座を開く「出前講座」として開講するほか、各種資料は、校内研修で活用できるよう校内研修パッケージとして本センターのホームページで提供する予定である。